

闘志に燃える！ **若きボクサー！** 京原和輝さん

きょうはらかずき

4/15[Mon]



▲後援会のみなさんと

▲4月の後楽園ホールでの試合。赤いグローブが京原さん

プロボクサーの京原和輝さん（北多久町・22歳）が、4月15日のダイナミックヤングファイトでの試合に勝利し、晴れてB級ライセンスを取得しました。

京原さんは厳しい練習や減量に挑戦し、ひたむきに努力を重ねてきました。その結果、昨年末には西部日本ミドル級新人王を獲得。

今年4月の試合では、対戦相手に強力な連打と得意の右ストレートを浴びせ、開始わずか1R 2分46秒で勝利し、ベストヤングファイト賞を受賞しました。

「勝ち星を重ね、来年までにはミドル級で日本ベスト10入りしたいです。精進しますので応援をよろしくお願いします！」と京原さん。

9月23日（月・祝）には、地場産くるめ本店（久留米市）でB級取得後初の試合を予定しています。みなさんの応援をお願いします！

300年以上続く伝統の式典 **多久聖廟春季釈菜**

4/18[Thu]

4月18日に、多久聖廟で佐賀県重要無形民俗文化財の「春季釈菜」（主催：公益財団法人孔子の里）が開催されました。釈菜は、儒学の祖である孔子と、顔子ら4人の弟子をたたえるもので、創建以来311年に渡り継承されている文化的遺産です。今年の来場者は約1,500人で、韓国の韓国孔子研究院からも4人が来廟されていました。孔子の里の亀川事務局長は「多久が誇る素晴らしい遺産の1つ。秋は獅子舞や花棒舞、幼児太鼓も披露されるので、たくさんの人に見て欲しい」と話されました。



▲式典での聖廟内の様子

県内外のパンが多久に集合！ **春のパンまつり2019 vol.3**

4/28[Sun]



▲「色々なお店のパンが買えました！」

毎年大好評の「春のパンまつり」（主催：多久市春のパンまつり実行委員会）が多久駅北側でゴールデンウィークにあわせ開催されました。

3回目となる今年は、パンやケーキを昨年より多めに準備されていたにもかかわらず、朝のスタートと同時に各店には長蛇の列ができ、スタート間もなく売り切れる店もありました。雑貨の店舗も並び、中心には遊具も用意され子どもたちも大はしゃぎ。市外から訪れた家族は「子どもたちがパンが大好きなので、初めてイベントに参加しました。」と笑顔で商品を手にしていました。

来場者は出来たてのパンやハンバーガーを食べながら、アーティストによる演奏や同時開催の軽トラ市を楽しんでいました。